

＝ 日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2015.1.28 No.222

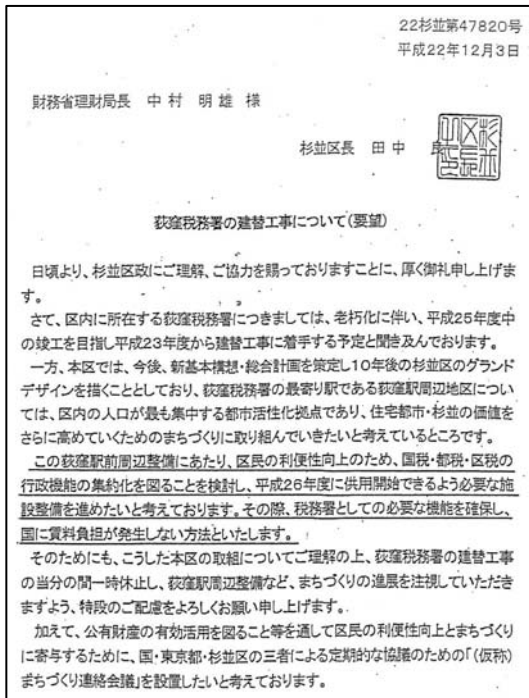
このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

あんさんぶる荻窪と荻窪税務署等用地の財産交換方針

「財産交換」の裏には荻窪駅前開発の思惑

平成22年当時 国・区間の公文書



区長の駅前開発の思惑により荻窪税務署建替をストップ

一月二十三日（土）「荻窪こどもの居場所を守る会」が集会を開催し、あんさんぶる荻窪の財産交換方針の問題点を告発しました。

集会では、住民が情報公開請求によって明らかにした国・区間の公文書も示されました。

この間、区は財産交換の必要性を「大規模特養ホーム整備のため」と強調しています。

しかし、平成二十二年当時の公文書では、特養ホーム整備には一切触れていません。

当時、田中区長は荻窪駅前開発を打ち出しており、文書では、荻窪駅周辺について「区内の人口が最も集中する都市活性化拠点であり（中略）杉並の価値をさらに高めていくためのまちづくりに取り組んでいきたい」と示され、税務署の建替工事の休止を要望しています。

この方針は、住民や議会に諮られることなく、区長の思惑により定められたものです。

一般紙でも報道

東京新聞 2016年1月22日付に掲載



財産交換方針の問題点を特集する記事

財産交換方針に対し、近隣住民からの反対の声が上がっていることも紹介している。

財産交換方針に道理無し

また、税務署の建替を休止させるため「平成二十六年に供用開始できる施設整備を進めたい」「国に賃料負担が発生しない方法といたします」なども約束しており、極めて従属的な内容となっています。

本来であれば、国の負担で税務署建替工事をやるべきものを、区の財政負担が増加する方針を約束している点でも重大な問題です。

現在の財産交換方針に至る最初の段階から、住民不在・議会無視で計画が進められており、区長の独断的思惑により「あんさんぶる荻窪廃止」にまで繋がっている点は重大な問題です。

現在、国により特養ホーム整備の際の「国有地の優遇貸し出し方針」も示されており、このスキームを活用すれば、より安価な方法で特養ホームも整備できます。財産交換方針に一片の道理も無く、直ちに方針を撤回することを求めます。

杉並後援会バス旅行 ぜひ、ご参加ください！

全地域合同のバス旅行

数十年振りに杉並区全地域合同のバス旅行を開催します。

党区議団6名全員、吉田信夫都議会議員も参加します。

楽しいひとときをご一緒に過ごしましょう！

みなさんのご参加
心よりお待ちしております！

日程：4月10日(日)
～11日(月)

場所：伊豆・伊東温泉

費用：18,000円程度

※旅行の詳細は新聞折り込みチラシなどをご覧ください。

日本共産党杉並後援会、杉並地区委員会共催・1泊2日バス旅行

伊豆・伊東温泉の

2016年
4/10(日)～11(月)

旅



区議団も6人全員が参加します！
楽しい旅をエスコートします！！

日ごろから共産党へのご支援に感謝いたします。この度、1泊2日のバス旅行を企画いたしました。お世話になっている皆様と温泉の旅を楽しみたいと思いますので、ぜひご参加いただければと思います。



お食事イメージ

《行程》

4/10 三島大社・みんなのハワイアンズ・中伊豆ワイナリー・ヒルズ・伊東温泉ホテルラヴィエ川良
4/11 大室山・熱海梅園・小田原鈴廣など

◆宿泊費(1泊2食)・昼食2食付
18,000円程度

◆お申し込み先
お近くの後援会員、党員、赤旗集金者、区議会議員にご連絡ください。
TEL: 03-3314-5551(杉並地区委員会)

今週の一コマ

大雪に子どもは大はしゃぎ
大人になったら大変な苦勞…

先週の大雪は本当に大変でした…。都市部は雪に大変弱くトラブルが続出。私も雪かきに追われました。大人にとっては大迷惑な大雪ですが、子どもたちは大はしゃぎ(苦笑)。雪から小雨に変わるなか、ベランダに飛び出して遊び回っていました。「転ばないように」と声をかけた瞬間、妹はスッテンコロリン。朝の猛烈に忙しい時間なのに、せっかく着替えた洋服がビッショビッショに…(泣)。もう大雪は勘弁です。



消火栓の雪かきも実施

文化財防火デーに伴う消防演習 井草八幡宮での訓練に参加

1月27日(水) 井草八幡宮にて重要文化財防火のための消防演習が行なわれました。荻窪消防団第三分団も出場し、私も放水担当で参加しました。

この演習は毎年一回行なわれており、消防署隊、消防団、地域の防災市民組織、防災ボランティア等が連携する重要な機会になります。

大規模震災に備え、実際の火災を想定した日頃からの訓練が重要です。今後も地域防災力向上のために全力を尽くします。



荻窪消防団第三分団が出場